



ひと
はだ
だ
フレ
ンド

Hitohada
Friend

成年
コミック

作
一色緑 **1**





そうなん
ですネ…

この部署あんまり
ゲームやる人
いないんで

清下さんが
やってるのは
意外です

ねえ今日
飲みに行かない？

この人は清下彩乃さん
確か何個か上の先輩で
美人で気さく
ときたものだから
部署でも人気者だ

シカちゃんの
話しようよ

俺とは縁のない人だと思って
今まで業務以外で特に
関わることはなかった



は？

は…はい



は…？
どゆこと…？

え？

ポーカー

ほんと？

それじゃ
また後でね！

ヒラ

ヒラ



か…乾杯…

乾杯〜!



こんな感じですか



そうだ小森君のシカちゃんを見せてよ

ランクどれぐらいになってるの?



金曜日に飲むビールは最高だねえ

そう…ですね



ちちち近いッ！
谷間見えてる！

ダハッ



うわ
すご!

SSランク
じゃん!

ズ

ッ



でもまさか
清下さんに
誘われるとは
思いませんでした…

会社なら
他にいっぱい
男いるのに

そう？

なんていうか
うちの会社の男って
妙にギラギラした
タイプ多いから…



たしかに
ツীবロックで
色黒でジム通って

腕時計とか
こだわりそうな
タイプ多いです
もんね

何その
偏見…

でもなんか
わかるかも…



だんだん寒く
なってきた
人肌は恋しいけど

ギラギラした人
苦手だから

寒くなると
人肌恋しくなるって
いいすもんね

俺とはゲームの話
したいだけっぽいし
どうせ相手にされないから
早めに退散しよう…



ってなんで終電なくなるまで話し込むかなッッッ

ズーン

はは…

ごめんね
まさかあんなに
盛り上がるとか
思わなくて…



1 上り方面
本日の運転は終了



清下さんは
タクシーですか？

俺は適当に
ネカフエでも
行くんで
とりあえず
乗り場まで送り
ねえ

冷えてきたし
ホテル行かない？

はい…？



あゝ
人肌落ち着くゝ

俺はなんで女性と
二人でベッドに
寝転がってるん
だろうか…

人肌って
こんな感じ
なんですね…



こういうこと
したことないの？

はは…
童貞なんで

あー…
酔ってんのか俺
何が童貞なんで
だよ…

ふーん…
好きな子とか
いないの？



気になる子は
いますけど…

てか清下さんは
彼氏とかいない
ですか？

そうだ
人肌ついでに
練習させて
あげよっか？



何を…ッ!?



いないよゝ

今は無理に
欲しいって気分
でもないから

でも人肌は
恋しくなるん
ですね…



ほら
ハグの練習

あ…ハグ？
ハグね…



まずは女に
慣れればその子にも
声ぐらいかけられるん
じゃない？

はあ…



どうぞ

じゃ…じゃあ
失礼します

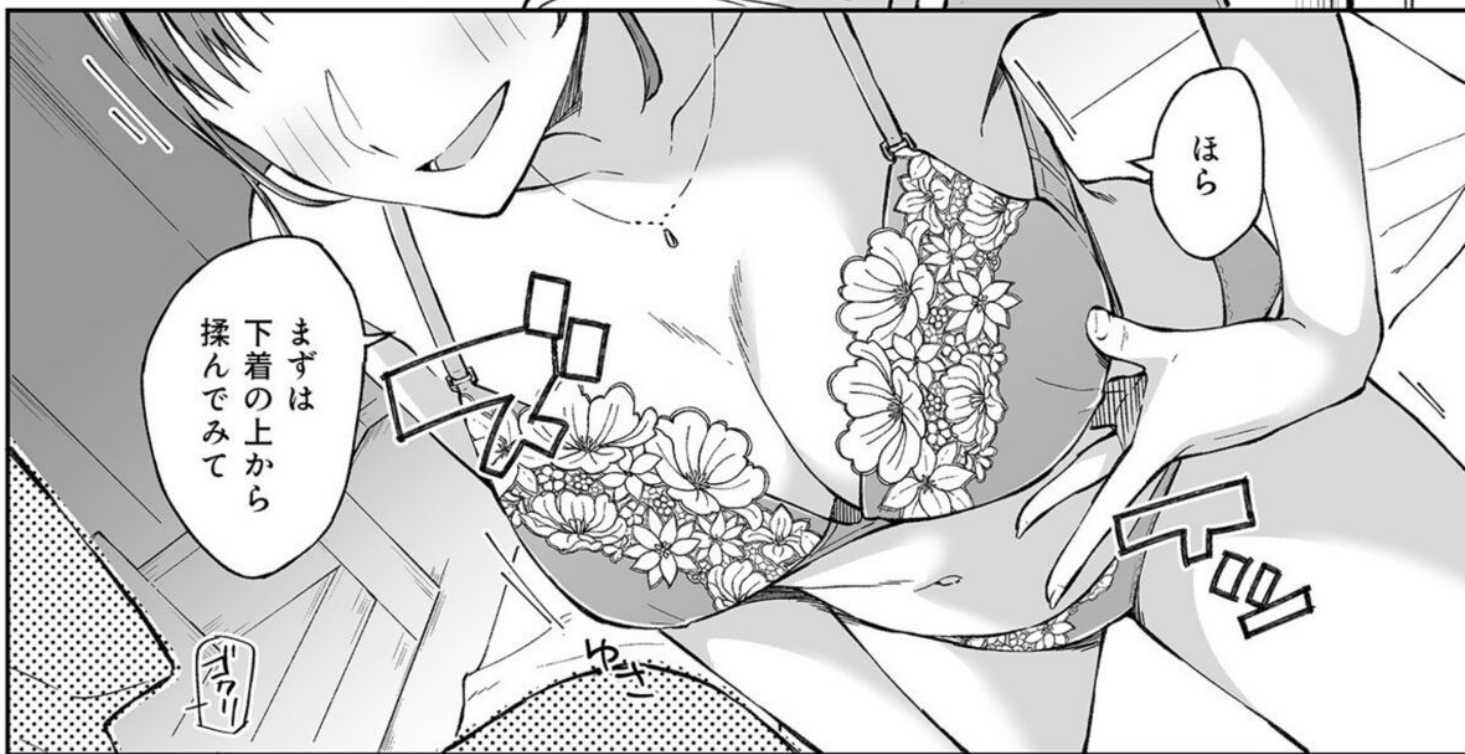
ゴメン





小森君がかわいい
こと言うからしたく
なっちゃった

酔ってるせいかな
人肌とキスで
ポーッとしてきた



やば…なんだこれ
ブラ越しでも
めっちゃ柔らかい…

こ…
これが
おっぱい…ッ!?





今度は乳首を
ゆーっくり
乳輪から
触ってみて

女性の肌って
なんかスベスベで
気持ちいいな

ブラはあんまり
引っぱっちゃ
ダメだよ
女子は
嫌がるから

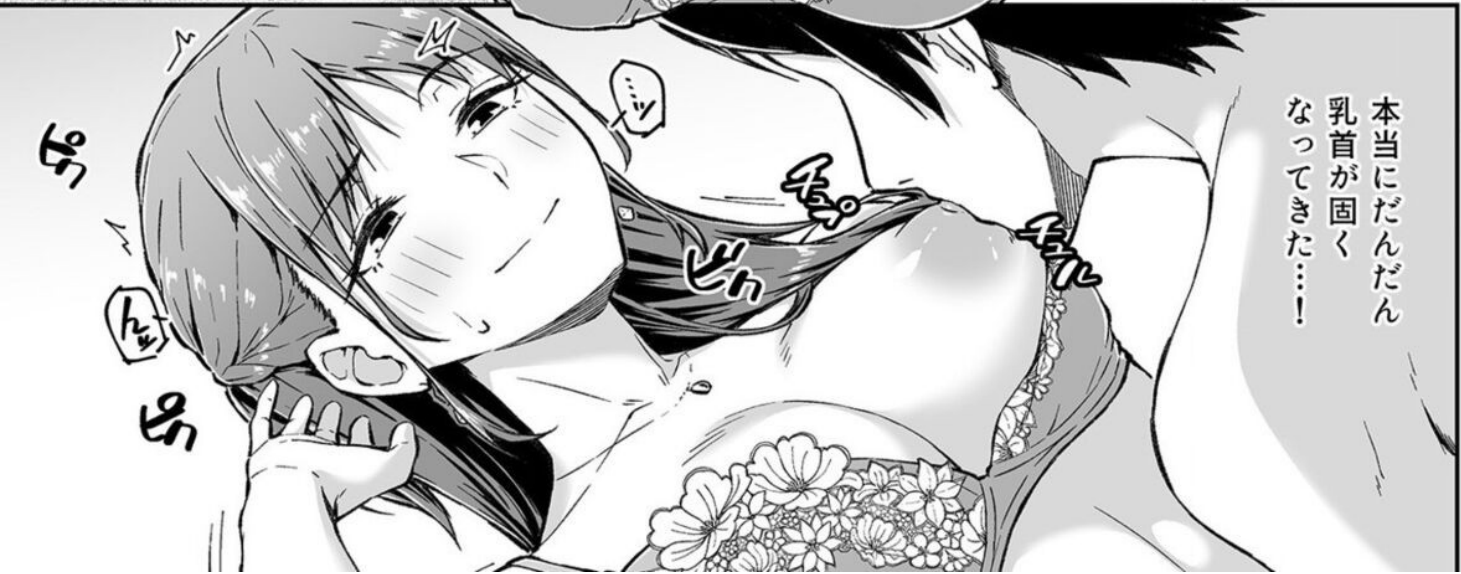
って言われても
こんなおっぱい前にして
我慢できないって…

はい

次は乳首を
つまんだり



舐めたりして
みよっか



本当にだんだん
乳首が固く
なってきた…!



ポ...



なんかちよつと
しっとりしてる...?

まずは撫でるように
クリトリス探してみて



よくできました

そしたら
おま〇この触りかた
教えてあげる



そう...そこ
強すぎない程度に
グリグリしてみても

は...はい



んんっ!
指...ゴツゴツ...ツ
して...ツ

んっ...

ヤバイ...
感じてる清下さん
めっちゃカワイイん
だけど...



今度は
挿入れて
みよっか



ザラザラで
ヌルヌルしてます

どんな
感じ?

ちゃんと中まで
ヌルヌルなら



ゆっくりね

もう...ちよっと
下...そう...そこ



ありがとうございます...
ございます

俺がこんな美人と
セックスしてるとか...
しかも初めてで...

卒業おめでと
小森君

わゝ真っ赤に
なってる
かわいい



夢じゃないんだよな...

ヒッ
ヒッ



なんだこれ
うまく前後
できない...

あ...あれ?

う...動いて
みますね



初めは
難しいのかな?

男の人のことは
よく分からない
けど...

な...んとか
頑張ってみます



ほら
頑張れ

ツ...だんツだん
良くな...って
きたよ



変な力入って
脚と腰が
疲れてきた...ッ!

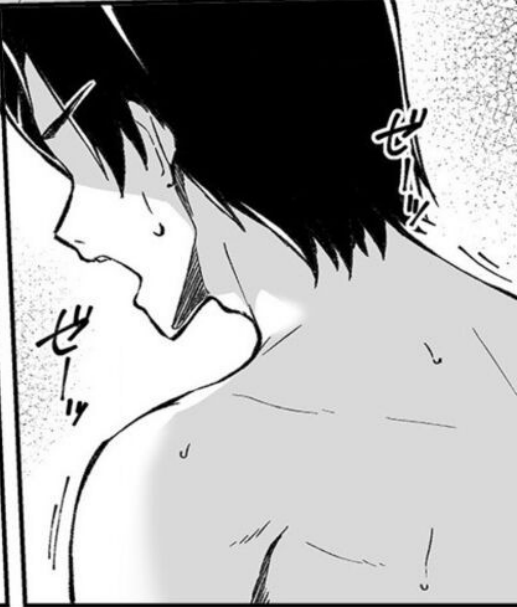


でも...ッ

少...しずつ
コツが...分かつ...
てきました



慣れないこととして
疲れちゃった？



すみません...

はい
私がやるから
寝転がる



挿入った…ッ





さっきと全然
刺激が違う…ッ

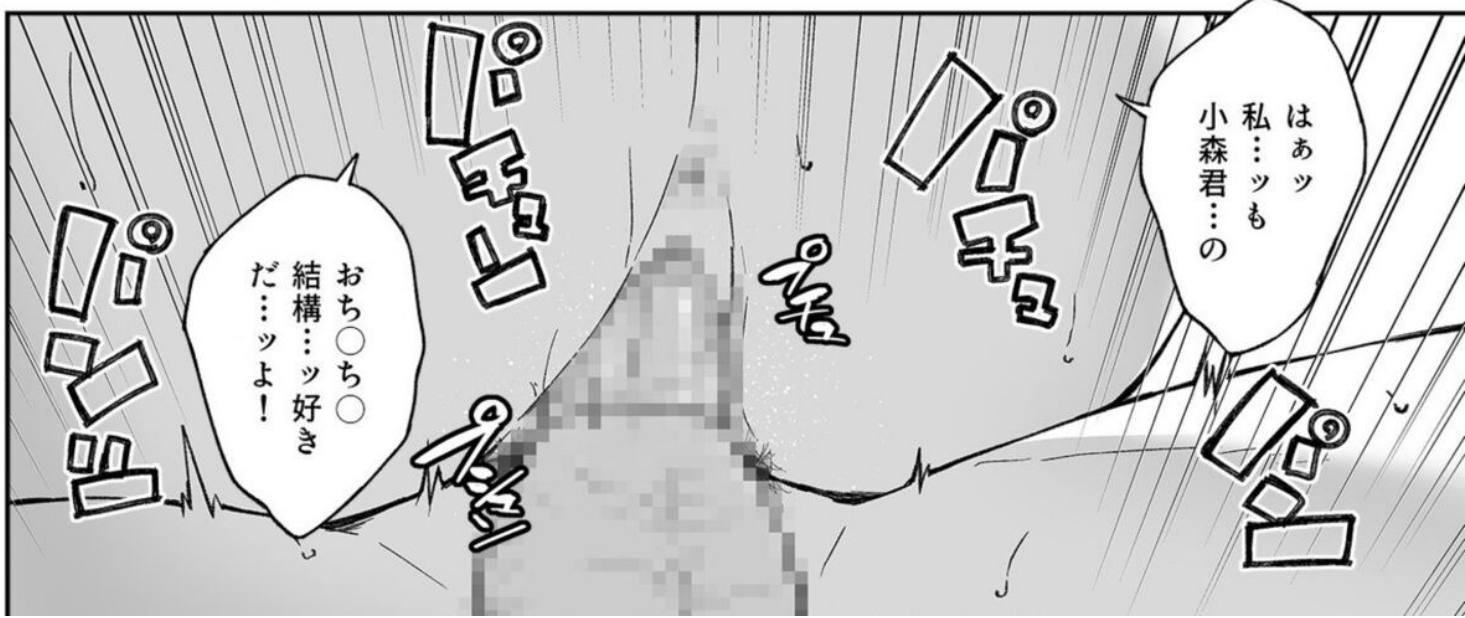


もう私我慢
できないから
動くね…ッ！



…くッ
清下さん…ッの

膣内ッ…
すごッ…い
…ですッ!!



はあッ
私…ッも
小森君…の

おち〇ち〇
結構…ッ好き
だ…ッよ!



こっちはさじって...

ね...ねえ



あ...あ...あ...



うんッ
...ッこれ

乳首...と
おま...
いっ...しよこ

触るッ...の
気持ちい...いッ
...のッ



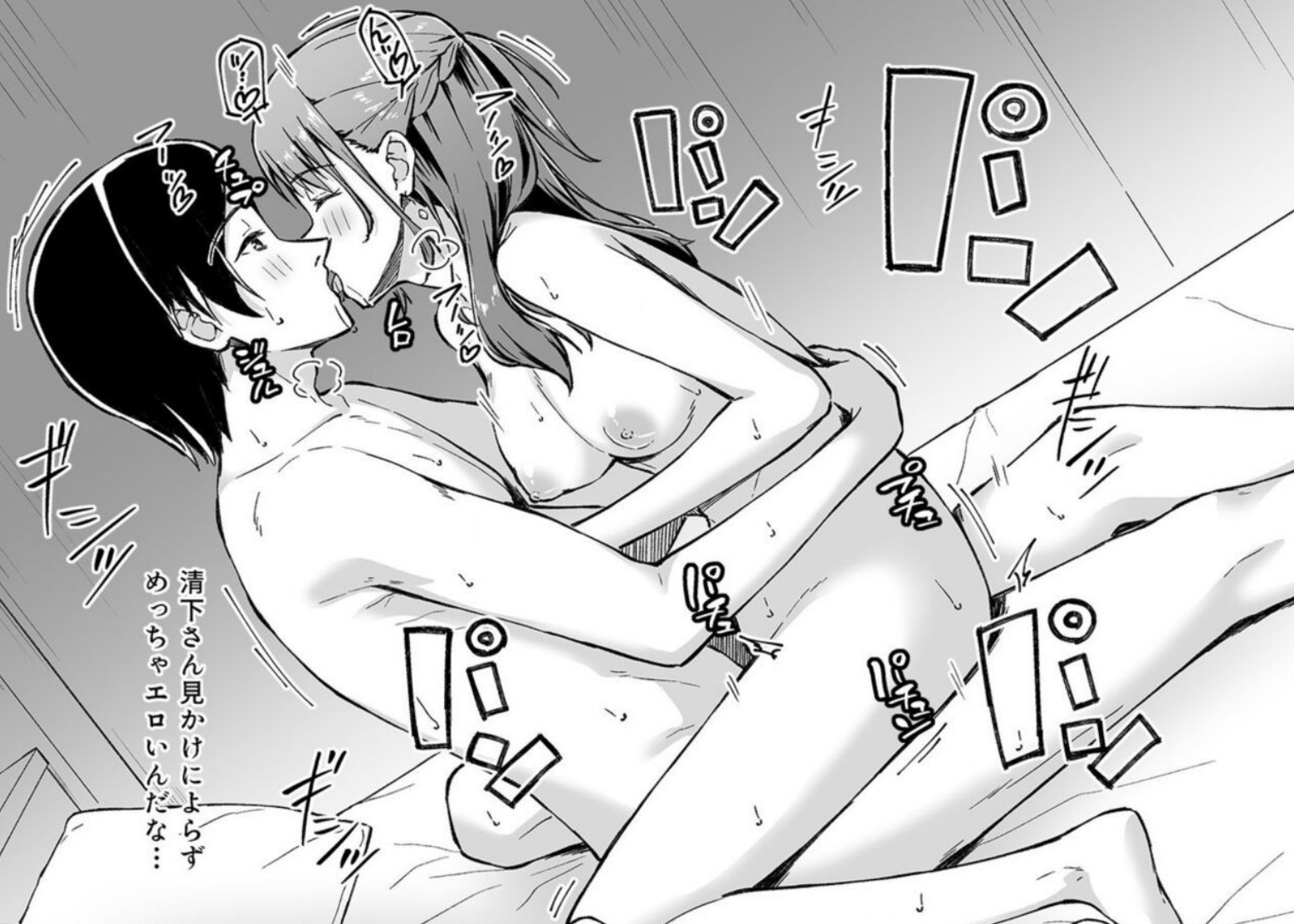
さっきッ
...より

ま...こ
締まり...て!

だって...
これ

気持ち...ちッ
いい...ッん
だもん...ッ





清下さん見かけによらず
めっちゃエロいんだな...



気持ちッ：
い...いです
けどッ！

俺...ッ
もうそッ...ろ
そろ...！



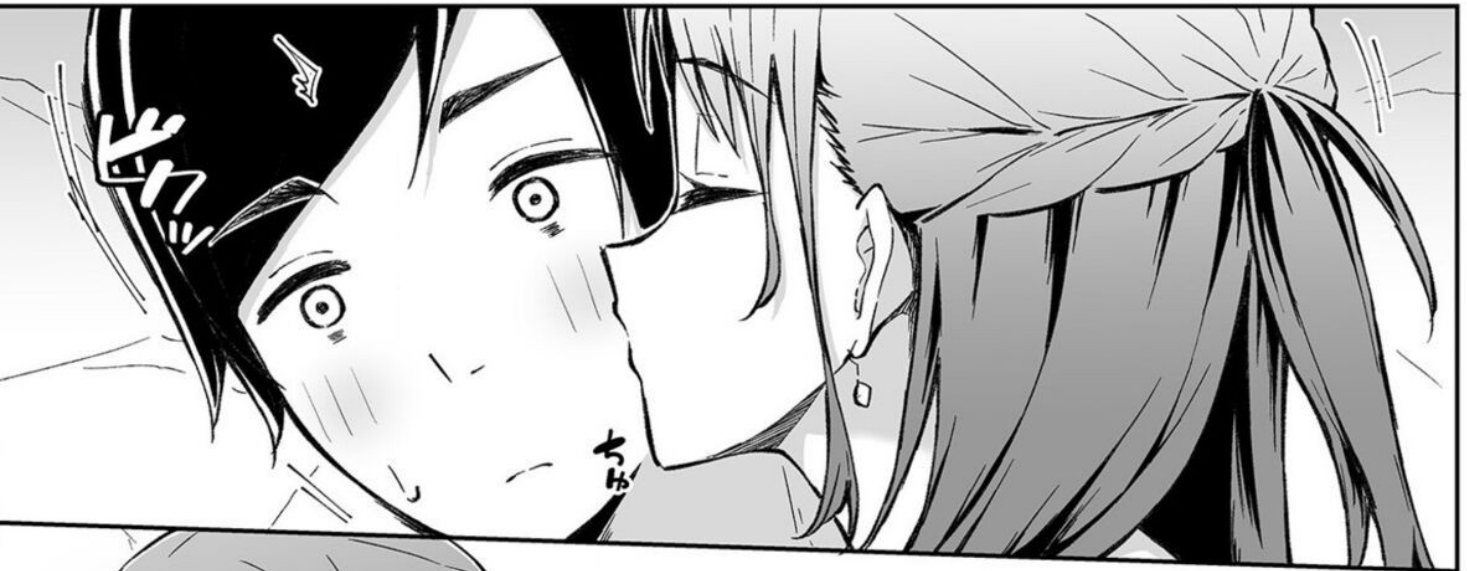
どう...ッ？
小森ッ...くん

気持ち...ッ
良い...ッ？



ぐッ...あッ
も...もう！

出ちやいそう？
ゴムッ...してる
んッ...だから
膣内...ッでビューって
してご...ッらん





えっ!?

ねえ
また人肌
恋しくなったら
付き合ってくれる?

クルン



昨日はお酒の
勢いもあったけど
凄いことしちゃったね

そですね…



人肌友達?
みたいな

ホカーン…

なんていうの




って…答え
聞かずに
行っちゃったよ



また来週ね

ひとはだフレンド(1)

著者 一色緑

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。



Hitohada Friend

ひと
はだ
フレ
ン
ド

作
一色緑 **2**

成年
コミック





…今更ですけど
なんで俺のこと
誘ってくれるん
ですか…？



それは…
あの時お酒の
勢いもあった
から…

はは…
なるほど



小森くんは
なんかフイリング
とか合うし

はあ…
フイリング
ですか…



ん…？
だから人肌が
欲しいだけ
だって…



他の男とは
こういうこと
しないんですか？

その…

…



私ってそんなに尻軽に見えるの…？

ショック…

そそそんなことは…!!



そっか俺以外とはしないんだ…

ですからそんな深い意味は…

でもそれならなんだってこんなセフレみだいな関係のままなんだろ…

ふん…



そういえば小森くんはあれが初めてだったってことは—

今まで彼女とかいなかったの？

そうなりますね…

ぽろぽろ

チリ



そういう清下さんは
どうなんですか？

うん…まあ
多少は…ね

でも色々あって
男の人は得意じゃ
なくなっちゃって
いうか…

？



大学時代に
付き合ってた人がさ

友達も多くて
サークル活動なんかも
積極的で外面は
いいんだけど

いざ付き合うと
最初は優しいん
だけど

だんだん
ちよっとしたこと
でネチネチ言ってきたり
怒鳴ったりする
タイプでさ

陽キャに案外
そういうタイプいる
って言いますね…



でもそれが二人きりの
時にしかしないし

暴力とかはないから
証拠もなく
友達に言っても全然
信じてもらえなくて…

そしたらいつの間にか
私が悲劇のヒロインぶって
目立ちたいやつって
扱いになって…

そんなことがあったから
男のひとってどこまで
信じていいか
分からなくてさ…



私の言うこと
信じてくれるんだ



なんて言ったら
良いか分からない
ですけど

大変だったん
ですね…



清下さん
仕事はきっちり
やりますしー

女子社員も
いつもフォローして
もらって助かる
って話してたりで

嘘ついたり
しなさそう
だなって…



…ありがと

今度は
小森くんが
話してよ
前に気になる子
いるって言った
じゃん

俺すか…!?



私だけ話すの
ズルいじゃん



最初に同期で
集まった時に
趣味が似た感じで
話があって



ああ…あの
大人しそうな
可愛い感じの子かあ



えと
隣の部署の
同期の子です…

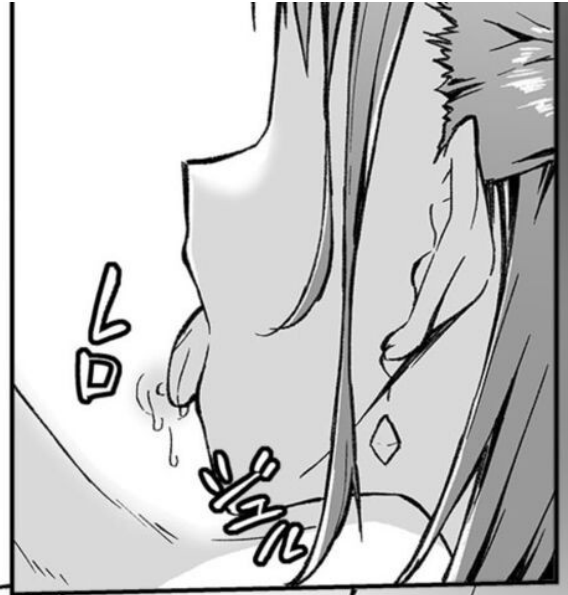


確かに二人なら
相性良いかもね

100%
と言っても
アニメやらゲーム
とかでちよつと
盛り上がっただけ
ですけどね



あんまり話す人
いないんで新鮮では
ありましたけど





さつきより
おち〇ち〇が
いいところに
当たって…ッ!?



小森…くん
上手く…ッ
なっ…てて

くッ…膣内…
凄…くヌルヌル
…でッ!!

前よ…り
い…いよ…ッ!!



膣内…の
感触と…かッ
凄く…キます!

俺も…だいぶッ
慣れて…きて



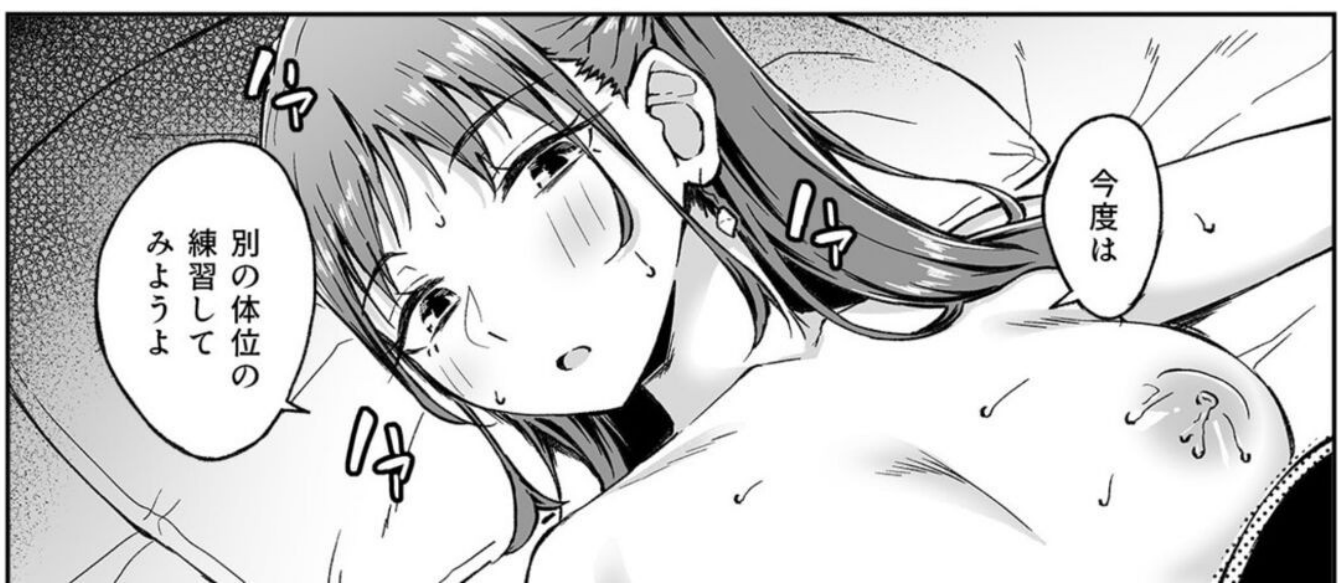
なんかイっちゃいそう

ダメ...



その...

ね...ねえ



今度は

別の体位の練習してみようよ



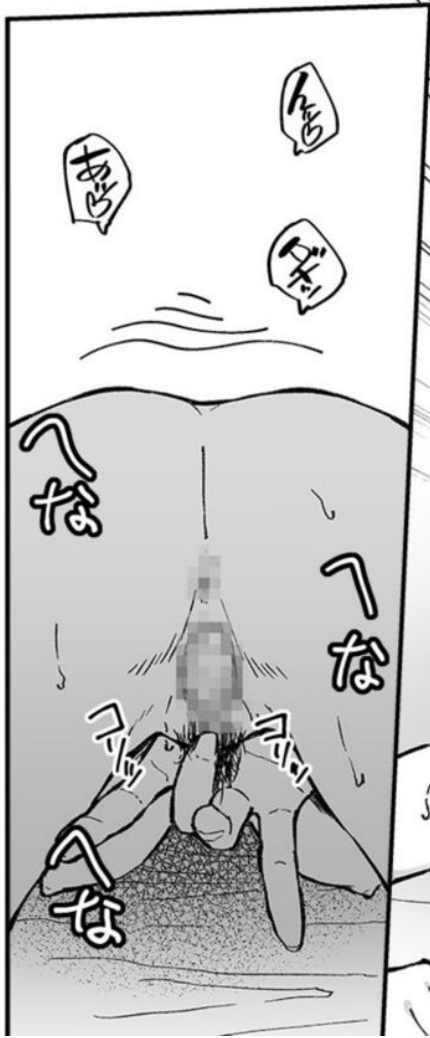
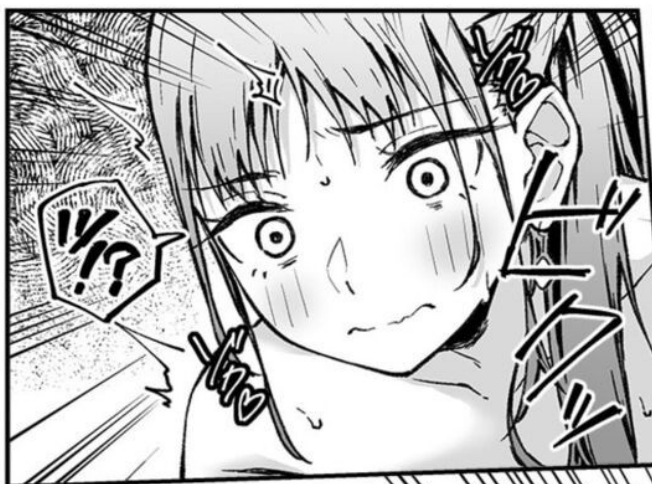
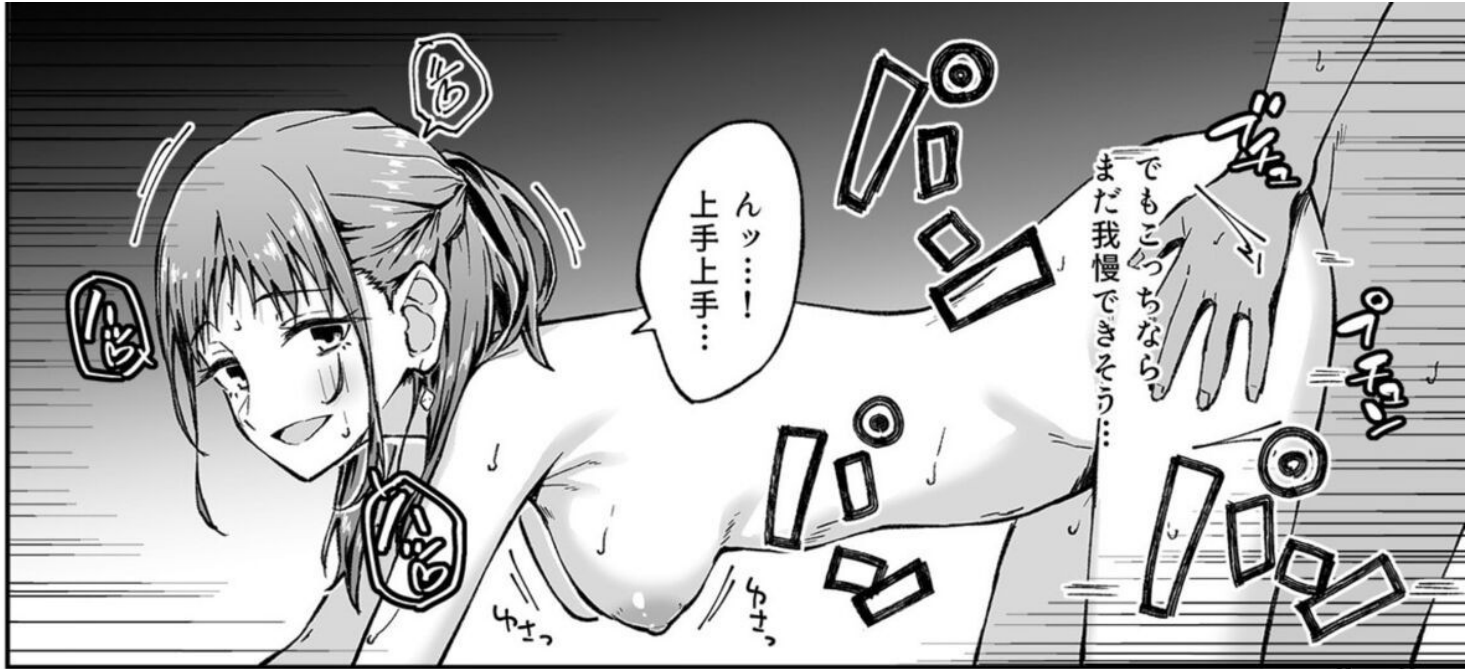
やばら...
尻が目の前すぎて
エロすぎる...

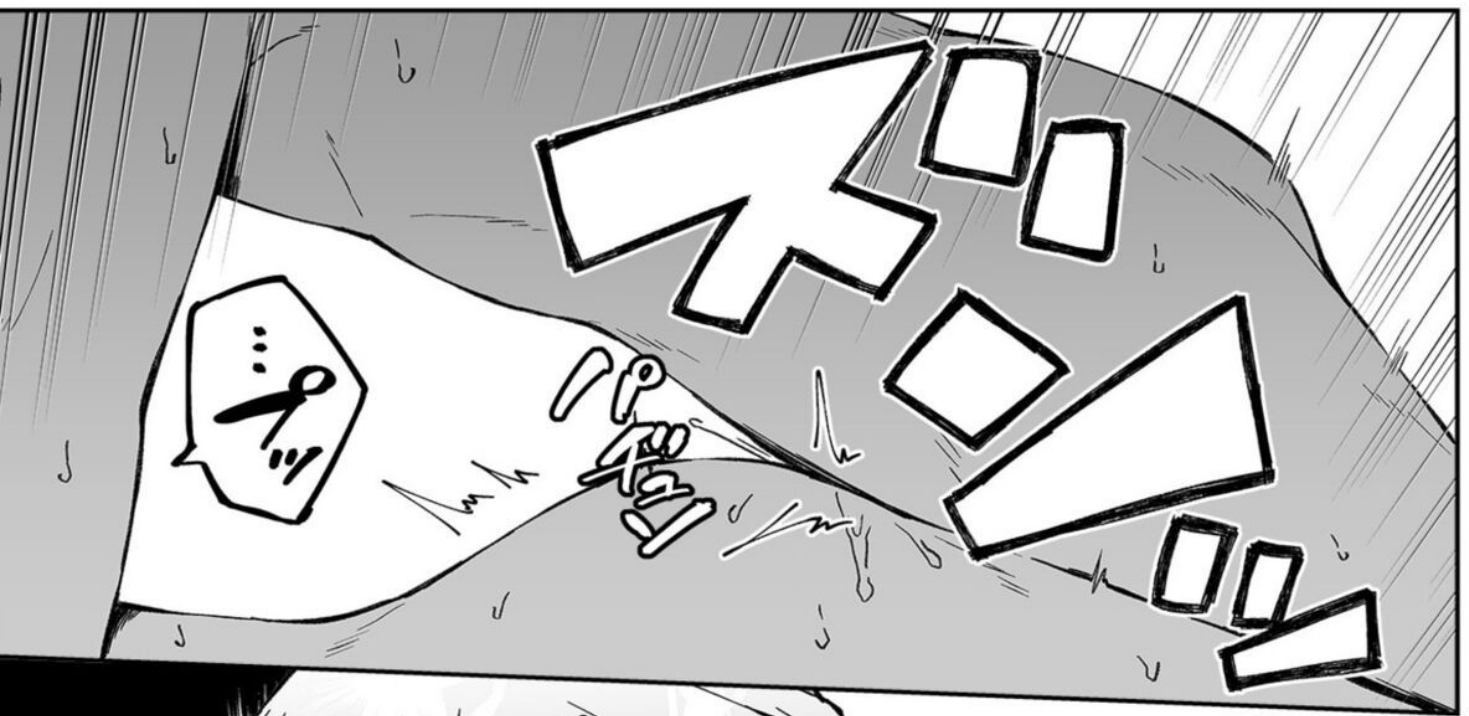
ほら早く...



刺激される
ところが...

違う...ッ!!









やば...これ...
さっ...より
深いところ

これ...いつもより
深いッ...です!

これ挿入ってる
とこめっちゃ
よく見えるな...

ま...たおち○ち○
大きく...なっ...て
深く...て!!



清下さん...も
グチョグチョで
凄い...ですよ!!

や...だッ
言わない...ッで



前から...
してほしい...

...

はい

...?





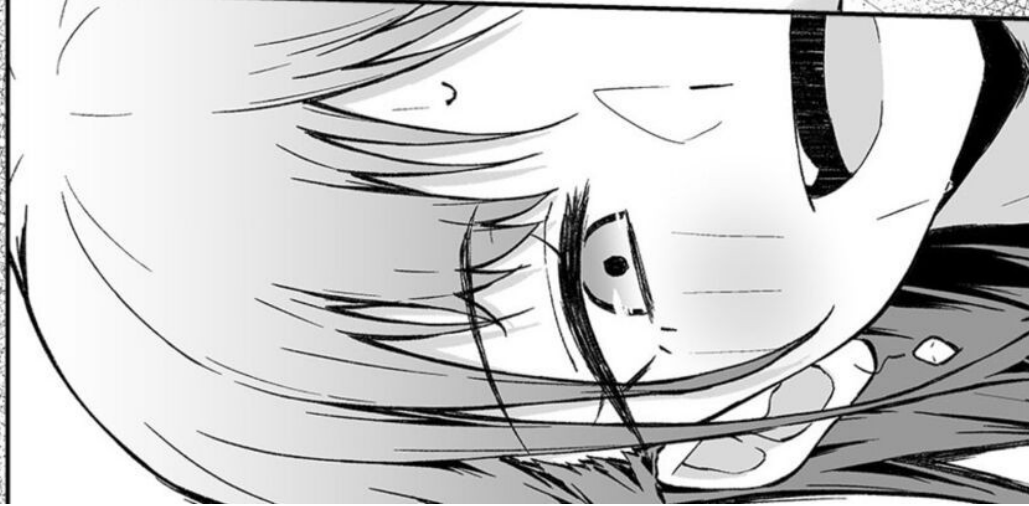
好きな時…に
ピュって
してい…いよ!



私も…
そ…ろそろ
イツちやい…そう
だから…!



俺…
そろそ…ろッ



ほ…ら
乳首イジら…れ
ながッ…ら
イツちや…えッ!



くあッ...!!
射精る...ッ!!

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ



そういう
ことはいちいち
聞かないの…

反応が可愛かったので
つい激しくしちゃって…

あの…
清下さん？



あの…

さっきバックで
ちよっとイって
ました…？



ポクッ
ポクッ

こいつ
だんだんカワイク
なくなってきたぞ

ちよッ!
そこは！



小森くんより
先にイっちゃって
悔しかったの

そういう
もんですか…



教えてあげるって
言ったのに私だけ
先にイっちゃった
んだもん…

なるほど




やっぱり
カワイイ

うそ

ひとはだフレンド(2)

著者 一色緑

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

成年
コミック

ひ

と

は

だ

*Hitohada
Friend*

フレ
ンド



作
一色緑 **3**



ビックリしたあ
清下さんか…

二人が
見えたから
覗いちかった

改めて見たら
やっぱり可愛い
子じゃん

俺みたいなのが
いってもセクハラに
なりそうですし

そう？
と思ったけど
顔はそこそこでも

髪型とか
ちょっと
怪しいか…

けなすか
褒めるか
どっちかに
してください



じゃああれだ
まずは服とか髪型変えてみようよ

そうすれば気持ちも変わるんじゃない？

俺そういうの全然詳しくないんですけど

そこはお姉さんに任せなさい

いつになくおちやらけるなあ



というわけで今度の土曜日に買い物とか美容室行こっか

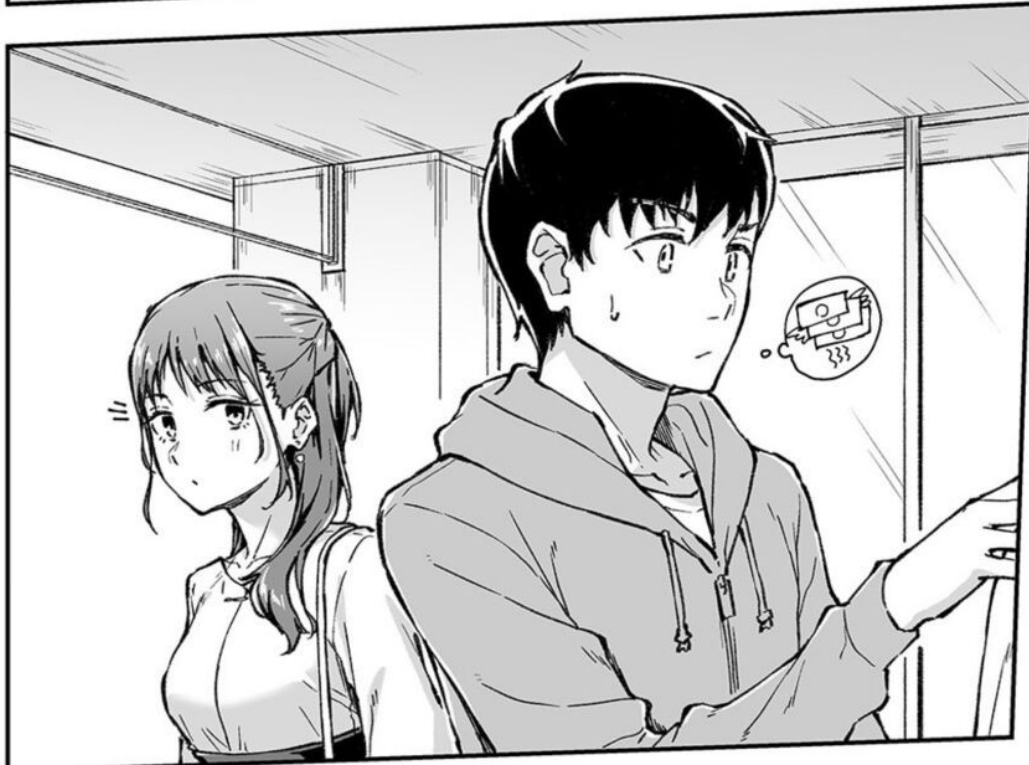
え...？いや悪いですが俺のために



それといつもの

ドキ

コン





これぐらいは
お安いご用
ですよ

私の分まで
持ってもらって
悪いね



うん…
小森くんは
趣味にばかり
お金かけてそう

でもこんなに
服とかにお金
かけたの初めて
です…

ラッ…

ドキ



これならあの子
誘ってもいいかもな…



ねえねえ
最後にあそこ
寄っていい？

どこですか？

…って

え…？
は？

うおおやばい…

落ち着かねえええ

買い物袋で付き添い感
出てるからなんとか
耐えられるけど…

清下さん
早くしてー…ッ

うーん…
どっちが
良いかなあ

ねえ小森くん
どっちが良いか
見てくれない？

いやいや
見れるわけ
ないでしょ!?

ほーら
いいから



小森くんは
今着けてるのと
どっちが好き？



そういうの
いいから
答える

裸だって
見てるのに
今更：
ヒヤ

こんなの
ダメですって！
フッ

着けてる
ほう…です

いつもホテルは
薄暗いから分がり
にくかつたけど

めっちゃ
スタイル
いいな…

そっか
こういう感じが
好きなんだ

とか
言って

ただでさえ
こんなところ
恥ずかしいん
ですから

いいから早く
試着終わらせて
くださいよ

こっちは
すっごい
元気だけど？

うん
うん







サイズは問題
ございませんか？



はい
大丈夫です



なんか物足りない…

しかも音がしないように
ゆっくり刺激されるから



そうですね
特に問題
ないです

この人はなんで
俺のチ○コしごき
ながら普通に
会話してんだ!?



はい
ありがとうございます
ございます



失礼しました
何かございましたら
お声がけください



念のため
こちらで確認
いたしますか？

すみません
今ブラつけて
ないので





え？
ちよっと!?

さすがに
舐めるのは…ッ!!

ド

ド

嘘…待って
ニオイ嗅いで
るのッ!?

アソコの
ニオイと…

ツルツルした
布の感触…

こんなの
知らない…ッ!!

何キモチ悪い
こと言ってるの!?

グ

グ

グ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

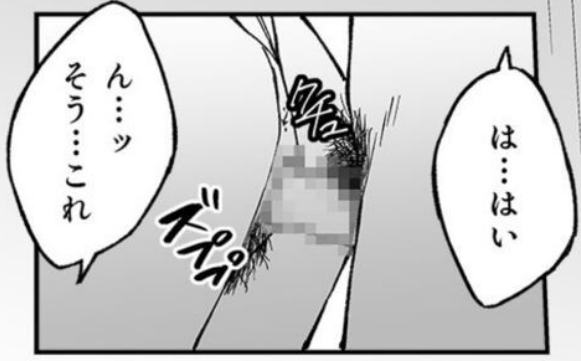
ハ

ハ





ねえ…これだと奥まで来ないよ…



は…はい

ん…ッ
そう…これ



いつもより
すんなり奥まで
挿入りましたよ

そんなに
欲しかったん
ですね



だか…らッ

そういうこと
は…ッ…きかない
…のッ!



なん…かッ
いつもより…
激し…いッ!

後ろから
見る下着が
思ったより良い
もので…





ヤバツ…
そ…こッ!!

イ…
イツ…く!

私だッ…け
先に…イッ
ちよっ…と
脚…力入らッ
…な

ごめ…ん

え…?
あの…



ガッ

ガッ

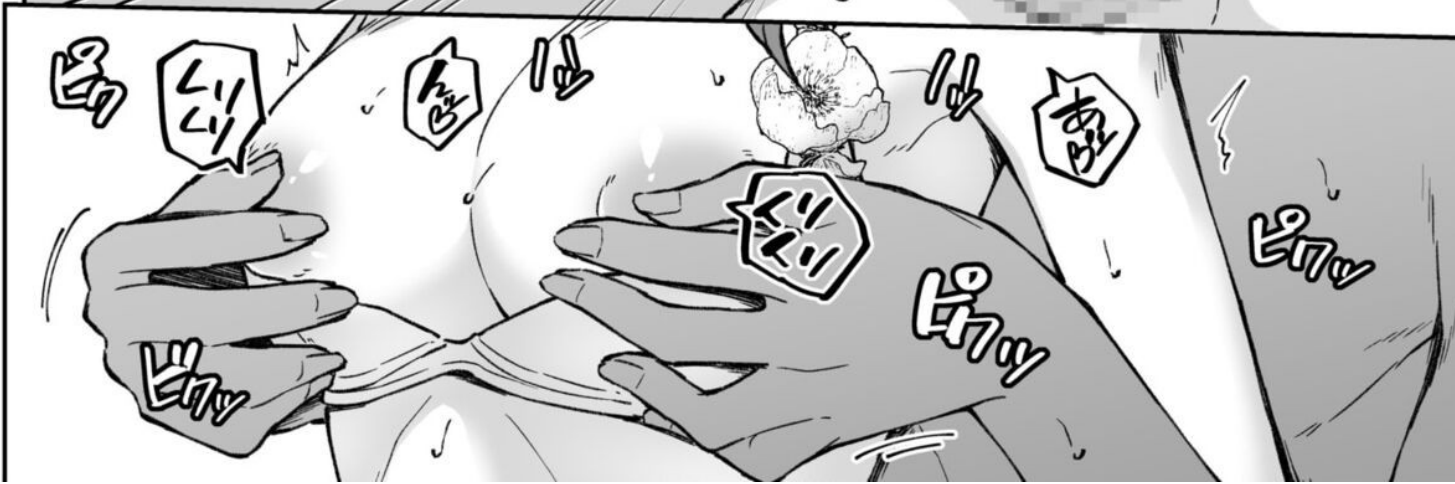
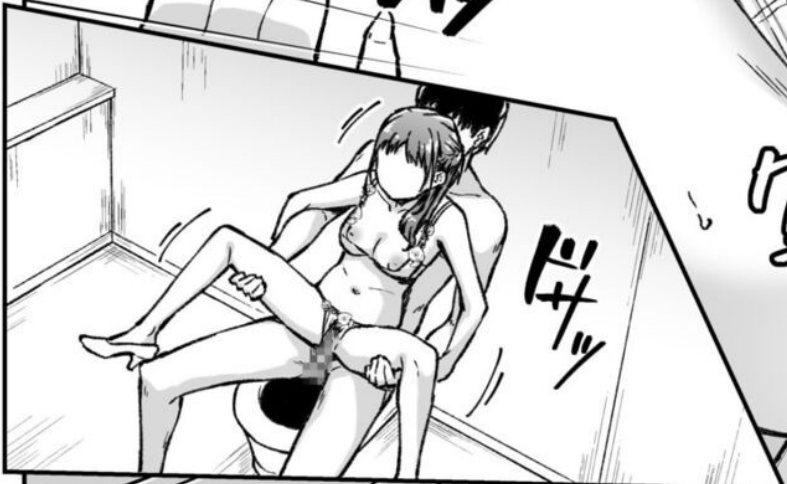


ダメだって
これ恥ずかし
すぎる！



パ
ン
ッ

しょうがない
ですね…







で…射精
るーッッ!!

ビク

ビク

ビク

グロ
グロ
グロ

グロ

グロ

グロ

グロ

ハ


ハ

ハ



ひとはだフレンド(3)

著者 一色緑

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。



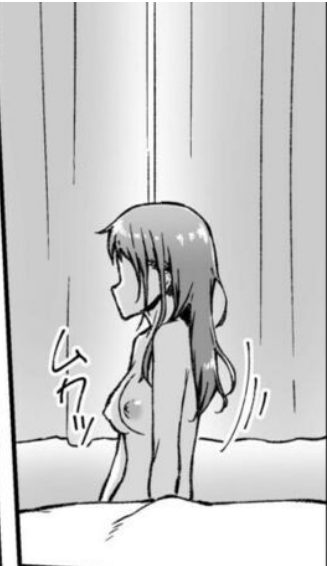
Hitohada
Friend

ひと はだ フレ ンド

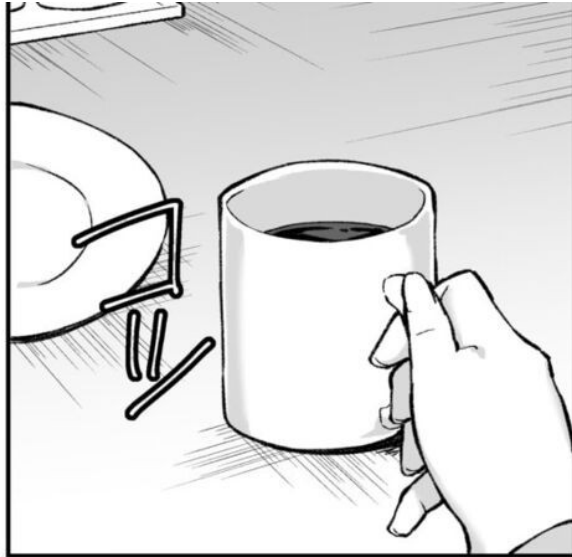
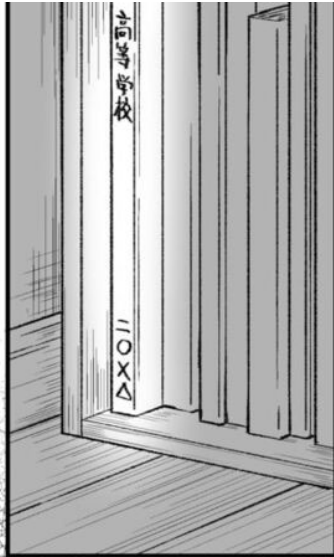
成年
コミック

kazushikimidori
一色緑

4







きよした
清下…清下
ん…？



これ
もしかして
卒アルですか？

え！
あ…ちよつと！



え…
誰ですか
これ…？

もう…

ガクリ



えっと
これ清下さん
ですか…？

あああッ！！
見ちゃダメ
だって…ッ！！

清下彩乃



だからって
こんな変わる
もんですか…？



私だよ…

む…

大学デビュー
したの…
悪い？



制服かわいい
から選んだけど
顔が負けすぎて
黒歴史なの…

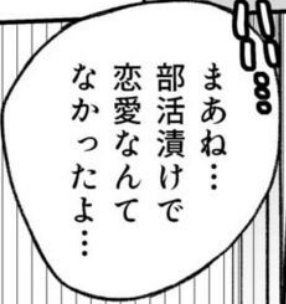
うちの学校は
地味だったんで
いいですねえ

あ、ホ下だ
かっイイですね

うん



でもまさか
清下さんが
陰の者だった
とは…



まあね…
部活漬けで
恋愛なんて
なかったよ…



俺も人のこと
言えません
けどね…

友達が制服
デートしたとか
聞いて涙を
流しました…





このままじゃ
死にきれ
ません！

地味だった
学生時代の
思い出に
ピリオドを
打ちたいんです！



そんな
大袈裟な…

それに清下さん
なら全然いけ
ますって！

大袈裟じゃ
ありません！

俺が保証
します！

学生時代
陰の者だった
なら分かる
はずです！



そ…そんなに
見たいの…？

笑わない
でよ…?

どう…?

やっぱり
ウエストとか
バストとか
キツイかも…

って…あれ?

ごっせん

ワキ

ワキ

ワキ

キツ





すごく大きく
なってるん
だけど…?



それに…



ゴゴゴ

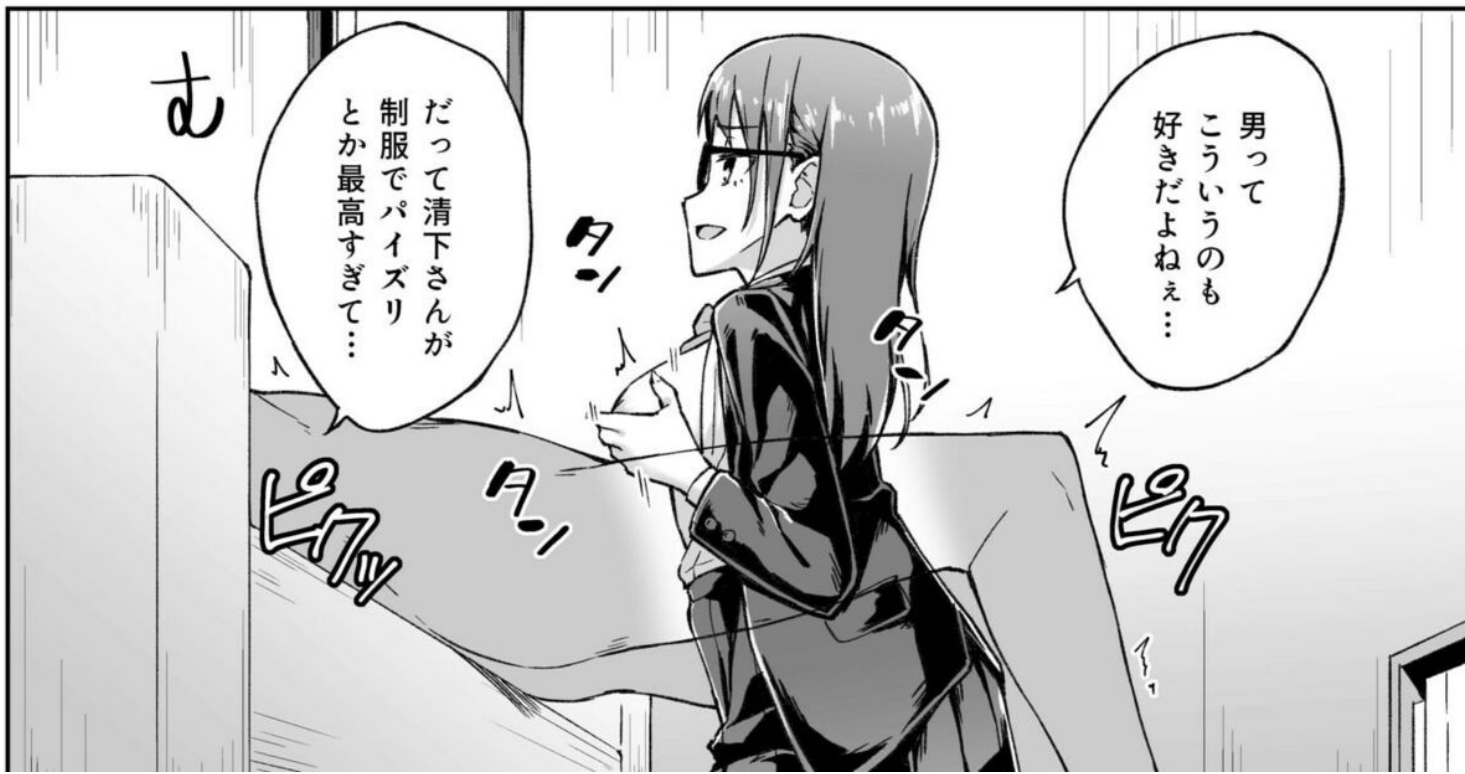


制服好き
なんだろ

ほんとなんで
男って



あの…
お願いが





そんなに制服好きなんだ...

なんかいつもより固くない？



すごいビクビクしてる... イっちゃいそう？



嫌い... な男なんて... いませ... ツんよ...!!



こうして滑りをよくすれば



じゃあ





あ...あれ?



私もしたくなっちゃった...



興奮しすぎ
そんなに制服で
するの楽しみ
だったの?



こもり
小森
セーパイ

!?



ほら
ここだよ





もう…
今…は私が
後輩だかッ…ら
名前で呼…んで

それと…ッ
敬語…ッ
禁止



はい…
先輩

…ッ!?
あ…彩乃ッ!



先輩の…
固くッ…て
奥までッ
来ます…!

んッ
あ…んッ



後輩属性とかない
と思っただけど…

清下さんに
言われたら股間に
来すぎるッ!!

顔真っ赤
ですよ?
か〜わいい



それに
おち○ちん
いつもより
カッチカチです



なんだ
この人…
カワイすぎん
だろ…ッ!

くッ!!



やられっぱ
なのもなんだし
ここは…

だって彩乃が
可愛すぎる
から…





きゃッ！

ズル

でも



最後までやろうよ

彩乃が
始めたん
だから...



!?

そうやって
恥ずかしがる
のもカワイイよ

ドク



でも彩乃は—



前からが
好きだよな

んんラッ!

ゴロ!



やっぱり
カワイイ

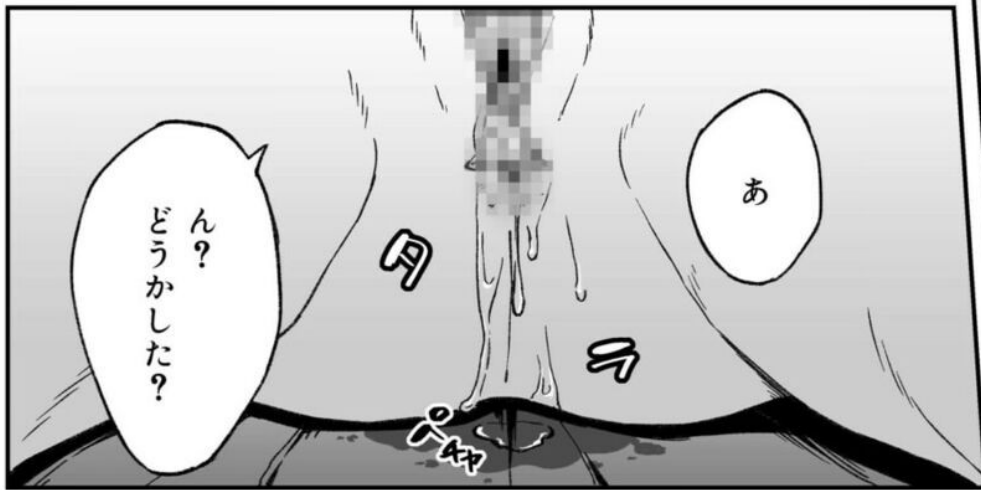
もう…ッ
い…いからッ!



人肌…
しっ…かり
感…ッじられる
から…ッ

だ…だって





★この度は、本作をお買い上げいただき有り難うございます。
ご感想・ご意見等ございましたら、下記の住所までお送りください。

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-2-5F
株式会社プレステージ出版
「コミックス感想」係

皆様のお便りを心よりお待ちしております。

ひとはだフレンド(4)

著者/一色緑
発行/プレステージ出版

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネット
へのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

ウェブサイト・公式SNSで
最新情報をチェック!!



ウェブサイト



編集部公式X